

2012年4月10日  
株式会社あいおいニッセイ同和自動車研究所

## IAAE2012にて弊社 専務取締役 佐藤昭徳 技監 鈴木正恒が講演

国内で唯一の自動車アフターマーケット専門の見本市「国際オートアフターマーケット EXPO2012」(IAAE2012)が3月14日～16日の間、東京都江東区の東京ビッグサイトで開催され、弊社はその中で「プリウスメンテナンス・整備入庫への対応」をテーマに、1日3回の計9回の講演を行いました。



14日は、第1弾「ボデーの新素材とボデー修理の注意点」として、弊社専務取締役 佐藤昭徳が、日本の燃費基準と車両の軽量化、自動車メーカーの軽量化技術、ボデー軽量化の新素材(超高張力鋼板・アルミ合金)の特徴と注意点、超高張力鋼板の取替作業の注意点などについて実演及び解説を行いました。

15日16日は、第2弾第3弾「ハイブリッド構造の変遷とメンテナンス整備(1)(2)」として、弊社技監 鈴木正恒が、ハイブリッドシステムについてトヨタとホンダとの比較、ハイブリッド車の整備のポイント、スキャンツールを活用したハイブリッド故障診断概要、ハイブリッドの事故車・故障車のレスキュー対処方法などについて実演及び解説を行いました。



講演は、3日間とも実車・カットモデル・引っ張り試験機などを使用した実演を行ない、連日、講演会場内は多くの聴講者で賑わいました。

プリウスの普及が進む中、分解整備や車体整備業界などのアフターマーケット関係者からは大きな注目を集め、プリウスを含めた次世代自動車に対応した整備入庫への関心の高さが感じられました。

弊社は、今後も次世代自動車時代の到来に向けたアフターマーケット市場へ、様々な提案を続けてまいります。